



佐賀大学教職大学院 院生ライフレポート



2022
5月号

待望の対面授業が再開されました！

4月12日(火)の県内の新型コロナウイルス感染者数が600人を超え、13日(水)の午後の授業からオンライン授業となりました。なかなか感染者も減らないことから、およそ1か月間オンライン授業は続きました。オンライン授業は自宅で行えることから通学の時間がかからないというメリットはあるものの、やはり直接顔を合わすことができない時間が長くなるほど不安な気持ちが日に日に高まってきました。我慢の1か月ではありましたが、ついに待望の対面授業が5月16日(月)より再開されました。仲間との久しぶりの再会に安堵し、やはり人は直接顔を見てコミュニケーションをすることが必要だと改めて感じました。この1か月はとても長かったですが、共に学んでいく仲間の大切さを実感することができました。この対面授業が続くことを願って、今後も感染対策に努めながら一日一日を大切に過ごしていきたいと思えます。



対面で参加できない人のためにも大学院ではハイブリッドでの授業が行われています。

各コースの紹介

授業実践探究コース

MI(院1年生)は、今年度7人で活動を行っています。5月に開催された運営協議会での成果発表会に参加し、実践に向け着実に各々の研究が明確になされていると感じたところでした。来年、M2(院2年生)の方々のように研究が行えるか心配ではありますが、これから5人の先生方よりご指導いただきながら、自分たちの研究に向けて少しずつ進めていく段階です。自分の研究もしながら、教育経営や学級経営についての発表にも取り組むなど、各コースの方々と協力しながら充実した大学院生活となっています。刺激ある環境の中で、これからも多くのことを学びたいと思えます。

子ども支援探究コース

子ども支援探究コースのMIは、特別支援教育系3人、生徒指導・教育相談系5人の計8人です。コース5人の先生方の助言をいただきながら、研究を進めるために、自分の興味のあるテーマを絞っています。テーマはそれぞれ違いますが、課題の背景にあるものには共通することも多くあり、とても勉強になっています。自分の研究だけでなく、子どもの学ぶ意欲や愛着障害についての課題をまとめるなど、忙しい日々を送っていますが、いろいろな立場の人との意見交流を通して、幅広く多くのことを学ぶことができ、充実した毎日となっています。

教育経営探究コース

教育経営探究コースのMIは5人です。大学院の生活にも少しずつ慣れ、現在は現任校の分析を行いながら、探究実習の研究テーマについて考えている段階です。過去の論文やコース4人の先生方のお勧めの文献等を読みながら理論を学び、現任校の課題と照らし合わせながら、改革・発展に向けた取り組みのヒントを探っているところです。校種やテーマは違いますが、各学校が抱えている課題を知り共に考えることで、今後の教育実践に活かせることがたくさんあると思いついています。